



# 脱炭素でチャンスをつかむ

## —中小企業流の脱炭素経営—

企業規模に関わらず脱炭素の取り組みが求められ始めています。大企業に比べ経営資源に制約のある中小企業が、脱炭素の時流に乗り、どのように経営をしていくべきかを中小企業、行政、支援者の立場で考えていきます。明確な答えがない中、未来に向けた第1歩を踏み出すきっかけづくりを目指します。

### 第1部 中小企業・行政・支援機関からの講演

- (1) 協発工業株式会社 代表取締役 柿本 浩 氏 企業からの視点

愛知県岡崎市で主に自動車部品用プレス加工を手掛ける。2018年からSDGsの1つとしてCO2削減に取り組み始め、2021年2月に国内の自動車・輸送機器関連部門で初の中小企業版SBTイニシアチブ認定を取得。取り組む「きっかけ」から「苦労」、「推進のノウハウ」などを実例を踏まえて紹介。


- (2) 経済産業省 中部経済産業局 カーボンニュートラル推進室 参事官 木山 雅之 氏 政策・行政からの視点

2022年4月にカーボンニュートラル推進室を設立。2050年カーボンニュートラル(CN)の実現に向け経済と環境の好循環の創出を目指しエネルギーの供給サイドおよび需要サイドから、地域企業等の支援に取り組む。CN取り組みの必要性、中小企業・支援機関への期待など、幅広く紹介。
- (3) 愛知県中小企業診断士協会 カーボンニュートラル研究会 支援機関からの視点

2022年10月に本シンポジウム運営メンバ有志が設立。中小企業の取組事例が少ない中で、中小企業診断士として各種の事例分析から「取り組みポイント」を整理し提案する。第2部パネルディスカッションでぜひ議論を頂きたい。

### 第2部 発表者と会場&オンライン参加者による 双方向パネルディスカッション

日時	令和5年2月15日(水)13:30~17:45 当日は、シンポジウム終了後に名刺交換会を予定	受付開始 13:15~
場所	ウインクあいち 1101会議室 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38 <a href="https://www.winc-aichi.jp/">https://www.winc-aichi.jp/</a>	
定員	会場100名* オンライン100名	
申込み	(一社)中小企業診断協会HPのトップページ【各種イベント情報】の中にある「第11回 経営改革シンポジウム」案内ページよりお申し込み下さい <a href="https://www.j-smeca.jp/">https://www.j-smeca.jp/</a>	

主催 公益社団法人 愛知県中小企業診断士協会

後援 経済産業省中部経済産業局 独立行政法人中小企業基盤整備機構 公益財団法人あいち産業振興機構 一般社団法人中部産業連盟 愛知中小企業家同友会 中日新聞社 中部経済新聞社

\* 新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては一部変更の可能性がございます

# 講演者プロフィール

## 第1部 講演



株式会社協発工業  
代表取締役社長

### 柿本 浩氏

1966年に創業した協発工業は、愛知県岡崎市で自動車部品のプレス加工を手掛けている。2代目社長の柿本浩氏はSDGsに興味を持ったことをきっかけに、2030年までに温室効果ガスを2018年比50%削減する目標を策定。その削減目標が、自動車・輸送用機器セクターでは国内で初めて中小企業版SBTの認定を国際機関から受けた。中小企業では先駆けた取り組みであることから注目を集めている。

<https://kyohatu.co.jp/>



経済産業省 中部経済産業局  
カーボンニュートラル推進室  
参事官（カーボンニュートラル推進担当）

### 木山 雅之氏

平成13年入省。中部経済産業局にて、中小企業の金融・再生、技術開発支援等を担当した他、次世代自動車・航空関連産業等の新素材開発拠点形成や航空特区の創成、対日直投・海外展開、サーキュラーエコノミーシステムの構築等に従事。直近は、危機管理及び政策の総合調整を担当。なお、経産本省では、航空機武器宇宙産業課で革新素材開発、サプライチェーン・業種横断政策等を担当。名古屋大学大学院経済学研究科博士課程前期卒。

<https://www.chubu.meti.go.jp/d12cn/index.html>



公益社団法人  
愛知県中小企業診断士協会

### カーボンニュートラル研究会（CN研）

加藤 泰子 神谷 英行 南山 賢悟 梅田 浩二  
高田 博之 三井 敬 渡部 知恵

本シンポジウムを企画する中で、運営メンバー有志が自らこの問題に真剣に取り組もうと22年10月に発足。基本的知識のインプットから、事例研究、支援に取り組む診断士とのディスカッションを重ね「あるべきカーボンニュートラル支援の在り方」を模索中。

## 第2部 パネルディスカッション



名古屋市立大学大学院経済学研究科教授

### 鵜飼 宏成氏

(株)住信基礎研究所(現・三井住友トラスト基礎研究所)で複数の調査プロジェクトに関わり、愛知学院大学経営学部教授、地域連携センター所長を経て、2019年4月より現職。同大学院経営者コースを担当。また、同大学・産学官共創イノベーションセンターにてNCU Action Doorsの推進責任者、文部科学省「持続可能な産学共同人材育成システム構築事業」実務家教員養成プログラムの名市大コンソーシアム実施責任者、2022年4月より学長補佐(スタートアップ・イノベーション担当)を兼務する。

公職に、特定非営利活動法人起業支援ネット、一般社団法人中部圏地域創造ファンド、一般社団法人 環境政策対話研究所の理事がある。

専門は、アントレプレナーシップ教育の研究と実践、起業家論、ベンチャービジネス論。

運営

実行委員長：神谷 英行

実行委員：梅田 浩二 加藤 泰子 志田 遼太郎 杉浦 麻優香  
高田 博之 三井 敬 渡部 知恵